

◇2025年のノーベル生理学・医学賞は「免疫応答を抑制する仕組みの発見」に貢献した、坂口志文先生ら三氏が受賞されました。さらに、ノーベル化学賞は「金属有機構造体 (MOF) の開発」に貢献した、北川進先生ら三氏が受賞されました。日本人の先生がダブル受賞されたことをたいへん喜ばしく思います。

◇11号「とびら」では、九州支部長の井倉則之先生に、専門分野を超えた交流の重要性についてご執筆いただきました。また「リレーエッセイ」では、西九州大学の安田みどり先生に、リケジョプロジェクトや、本学会が実施している女性研究者支援の取り組みをご紹介します。ちょうど政界では憲政史上初の女性総理誕生があり、「性別による区別を超えて、お互いの才能や努力が正当に評価される (中略) 社会の実現」というエッセイ中の一節に大きな前進があったのではないのでしょうか。

◇毎年11号には特集記事を掲載しています。今年は「分析化学の貢献を期待して～異分野領域の最新研究～」というテーマで、多数の記事をご執筆いただきました。紹介されている異分野のトピックが、読者の皆様にとって、現状の課題を克服する新しい発想のきっかけになりましたら幸いです。

[K. T.]

〈とびら〉

情報と分析化学……………四宮 一総

〈入門講座〉 分析におけるコンタミネーション・キャリアオーバー対策

環境水分析で気を付けること……………岡村 慶・野口 拓郎

〈解 説〉

地球外物質中の有機物の分析……………癸生川 陽子

〈ミニファイル〉 分析用試薬

試薬の廃棄……………橋本 剛

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四 宮 一 総 (日 本 大 学)

〈副委員長〉 稲 川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)

〈理 事〉 山 口 央 (茨 城 大 理)

〈幹 事〉 糟 野 潤 (龍谷大先端理工)

原 賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)

〈委 員〉 石 橋 千 英 (愛媛大院理工)

北 牧 祐 子 (産業技術総合研究所)

鹿 籠 康 行 (東北大学金属材料研究所)

原 田 誠 (東京科学大理学院化学)

山 口 浩 輝 (味の素 (株))

高 橋 豊 (E&Mソリューションズ)

上 田 忠 治 (高知大農林海洋科学)

久 保 田 哲 央 (アジレント・テクノロジー・インターナショナル)

岡 崎 琢 也 (工学院大先進工)

坂 真 智 子 (株 エ ス コ)

角 田 誠 (東 大 院 薬)

半 田 友 衣 子 (埼 玉 大 工)

三 原 義 広 (北海道科学大薬)

勝 又 英 之 (三 重 大 院 工)

高 橋 幸 奈 (丸大カーボンニュートン)

橋 本 剛 (上 智 大 理 工)

岡 林 識 起 (日大生物資源科学)

佐 藤 惇 志 (株) ラ イ オ ン

西 崎 雄 三 (東洋大食環境科学)

村 山 周 平 (昭和医科大薬)

大 江 知 行 (東 北 大 院 薬)

萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)

☐ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会 (学著協) に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3 階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾 (著作物の転載願い等) は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2025 年 第 11 号 (通巻 611)

2025 年 11 月 1 日印刷

2025 年 11 月 5 日発行

定価 1,000 円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印 刷 所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 13-11

株式会社 双文社印刷

発 行 所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人 日 本 分 析 化 学 会

電 話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2025, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。